

能代市出身。高校を卒業して以来、約40年ぶり秋田県民となった。「経験を生かしながら地元へ何かしらの恩返しができたら」と意気込みを語る。

岩手大学工学部で情報工学を学び、技術者として大手電機メーカーに就職。30歳で職業能力開発機構に転職し、情報技術系の教員となった。浜松、千葉、関東の各校を経て、秋田校の校長に就任した。

入学者の大半が地元出身。「卒業生の進路は約70%が県内。地元志向の学生が多いことがうかがえる」という。少人数制で技術、理論を深く学ぶ。「先端技術を求める企業の開発、製造現場両部署の業

技術で地元へ恩返し

秋田職能短大校長

山田 浩^{さん}



務を理解し、橋渡しができる企業への支援策となっている。人材の育成を目指しているほか、教員が在職者の相談に乗ることで「企業が今、学生在職者への訓練にも力を注ぎたいと考えている。生産性向上に向け企業が人材育成する際、必要な専門知識や技能を、同校で受けられる。中小

企業への支援策となっている。ほか、教員が在職者の相談に乗ることで「企業が今、学生在職者への訓練にも力を注ぎたいと考えている。生産性向上に向け企業が人材育成する際、必要な専門知識や技能を、同校で受けられる。中小

大館市に単身赴任中。千葉県船橋市に家族がいる。